

公開講座：「だれのための原発輸出か：その倫理性を問う」

講演：京都大学大学院アジアアフリカ地域研究研究科 准教授 伊藤正子
現地取材 DVD(中井信介氏)

福島原発事故は収束とは程遠い状況にあります。「安全な原発はあり得ない」、これが福島事故が、大きな犠牲を払って、私たちに残した極めて貴重な教訓です。にもかかわらず政府は原発再稼働を強行しようとしています。本当に許せない暴挙であり、多くの国民の力で絶対に阻止していかなければならないと思います。

その一方で、政府は原発を海外に輸出することまで着々と準備を進めています。原子力村の魍魎魍魎たちの魂胆をしっかりと学ぶ意味からも、ベトナムへの原発輸出の実態を学習することは、とても大切なことだと考えています。どなたもご自由に参加していただけます。

お時間の許す方は、ぜひ、気軽にお立ち寄りください。

日時：2014年5月17日 土曜日 15:10～16:40
場所：京都民医連中央病院西館1階
（京都市中京区西ノ京春日町16-1）
参加費：無料

伊藤正子氏略歴



学歴：東京大学文学部東洋史学科卒業(1988)、オーストラリアナショナル大学東南アジア地域研究科修了(Graduate Diploma)(1994)、東京大学大学院総合文化研究科修士課程(地域文化研究専攻)修了(1995)、東京大学大学院総合文化研究科博士課程(地域文化研究専攻)単位取得退学(2000)
専門分野：ベトナム現代史 現在の研究課題：ベトナムの少数民族政策と少数民族側の対応、ドイモイ(刷新)政策以降の民族政策の変容、韓国軍のベトナム戦争参戦の記憶をめぐる韓越比較研究、ベトナムへの原発輸出問題

中井信介氏略歴

1967年京都生まれ。93年よりフィリピンのスラム街や米軍基地跡地の写真を撮り始め、新聞や雑誌で発表する。96年にアジアウェブ賞受賞。99年よりビデオ取材を始め、TBSの報道特集やNews23などで発表する。2001年よりアジアの基地問題や環境問題をテーマに映画制作を始める。「がんばれ！ファンセウル」で国際人権教材奨励事業 AWARD2006を受賞。「ナナイの涙」で座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル入賞(2010年)、福井映画祭審査員特別賞(2010年)。

原発予定地タイアン村遠景

